



立春を過ぎてほぼ1か月を過ぎても、春の温かさを感じられない日々が続いています。園では、卒園に向けての準備と新年度の準備が同時に進められています。子どもたちも、心身ともに成長し、卒園、進級の準備がそれぞれできているようです。最近のクラスの様子を紹介します。

園長 平野弘和

<きいろ組>

朝からの雨もあり、今日は室内でゆったりと過ごすことにした。数名の子たちが剣玉の練習を始めた。輪になり、互いに技を見せ合い練習をしている。普段から練習をしている子たちなので、私は年少児と遊びながら練習を見守っていた。少しして視線を送ると、その輪の中に A がいた。今までは部屋で剣玉の練習をすることはほとんどなかったので、その姿に驚いた。子どもたちの輪の中で A は他児と一緒に楽しそうに練習をしていた。様子を見てみると、初めに練習をしていた Y と R も A の姿に驚いたのか、二人も A が剣玉をする様子を見ていた。しばらくすると、A が「先生、<もしもしかめよ>のもしかめができた」と嬉しそうに言いに来た。「すごいね。たくさん練習しているものね」と言うと、「うん」と答え、そばでさらに<もしかめ>の練習を続けた。その様子を見てみると、Y と R もそばに来て、A の様子を見守った。「A 君、土曜日にたくさん練習したんだ。上手になったよね」と二人に話しかけると、「うん。A 君、上手になっている」「すごいね、A 君」と声をかけてくれた。その言葉に A はとても嬉しそうで、でも、恥ずかしかったのか、「あっちで練習してくる」と元の場所に戻っていった。普段は他の年長児との関わりがあまり見られないが、みんなと一緒に練習する A の姿が嬉しかった。A も Y たちに認めてもらいとても嬉しそうで、さらに自信をつけたように思う。

<分園ちゅうりっぷ組>

7月生まれの K は今まで便器に座ることを頑なに拒否していた。よく一緒に遊んでいる R たちが便器に座る姿を見ることがあったが、それでも座らないと拒否していた。しかし、先週末、K が「お家でおトイレ行ってるの」と話してきた。「じゃあ、保育園でも座ってみたら」と誘ってみたが、その時は首を横に振っていた。昨日、おむつ替えを行った際に「トイレに座る」と聞くと、「うん」と言い戸惑うことなく便器に座った。それまでの K の姿からは想像もつかないことであった。さらにその日の午後、便器に座り排尿できた。ここ数日の急成長にとっても驚いた。そして今日、自分から「おしっこ出る」と保育者に言ったのだ。驚きながらも「トイレに行こう」と誘ってみた。おむつにおしっこが出ていたが、便器に座り排尿ができた。「すごい。K ちゃん、自分で言えたね。すごい」とたくさん褒めると、嬉しそうに笑っていた。褒められたのが嬉しかったのか、それから自分から「おしっこ出る」と言うようになった。おむつに出ていないこともあり、おしっこが出そうな感覚がわかり、それを保育者に言うようになった K の成長にとっても驚いている。家庭と相談しながらトイレトレーニングを進めていきたい。